

環境福祉経済委員会視察報告書

市内視察における調査結果について、下記のとおり報告します。

平成 25 年 6 月 5 日

光市議会議長 中村 賢道 様

環境福祉経済委員会

副委員長 大樂 俊明

委 員 大田 敏司

委 員 笹 井 琢

委 員 田中 陽三

委 員 中村 賢道

委 員 西村 憲治

委 員 畠堀 計之

委 員 萬谷 竹彦

随 行 酒谷 敏子

記

- 1 研修年月日 平成 25 年 5 月 28 日(火) 9 : 30 ~ 11 : 00
- 2 視察場所 周南東部環境施設組合リサイクルセンター「えこぱーく」
- 3 調査結果等 別紙のとおり (資料含む)

環境福祉経済委員会視察調査結果

平成 25 年 6 月 5 日

報告者：副委員長 大樂 俊明

1 周南東部環境施設組合リサイクルセンター「えこぱーく」

1 日 時 平成 25 年 5 月 28 日(火) 9:30~11:00

2 目 的 ごみの選別とリサイクルの現状

3 説 明 周南東部環境施設組合
事務長 日野志郎
業務係長 秋友雅文



4 内 容

リサイクルセンター「えこぱーく」は、不燃ごみを処理し、選別や破碎を経て、ごみをリサイクル可能な状態に再生する目的で、平成 20 年に建築されました。残容量がひっ迫するごみの埋め立て処理場の延命化を図ることは、光市が抱える大きな課題の一つです。最近ではごみの分別の適正率が低下しており、平成 23 年度の例では、分別の適正率は 77%であり、この資源ごみを 40 人の分別要員で、95%以上になるように、手で選別しているとの説明を受けました。また、埋め立て処理場では、汚水が地下に浸透しないようにゴムシートが貼られ、ろ過や活性炭などを活用し、ほぼ真水に近い形で放流されていることが説明により確認できました。



分別作業の様子